

令和6年度後期(秋学期・冬学期) 成績評価方法【教育学部】

R6.12.4時点

科目名	曜日 時限	担当教員	成績評価方法 (※詳細についてはシラバスを確認すること)
1 (1年生) 教育学・教育心理学概説Ⅱ	金3	花井・杉山	・期末レポート
2 (秋学期) 対人相互作用論演習(学習・言語心理学)	月1・2	實藤 和佳子	・最終レポート ・担当回での発表 ・授業中の講義への参加
3 カウンセリング論講義Ⅱ(精神疾患とその治療)	月1	野村 れいか	・各授業の終わりに課題を提示し、Moodle上に提示するFormsへ解答する。 ・2/3以上の出席を成績評価のための前提とする。
4 国際教育制度論	月2	花井 渉	・最終レポート ・担当回での発表 ・授業中の議論への参加
5 社会心理学講義Ⅰ(社会・集団・家族心理学)	月2	池田 浩	・講義内容全体に関わる期末試験(50%) ・課題の内容に応じた「レポート課題」(20%) ・各授業に関わる「リフレクションシート」の提出(30%)
6 教育課程・カリキュラム論	月3	田上 哲	・小テスト◎ ・レポート◎ ・授業への貢献度○ ・出席○
7 教育学説論	月3	鈴木 篤	・最終レポートも評価の対象(20点) ・発表原稿の出来具合、発表の準備状況、発表での他者とのやりとりなどについて、授業担当者(教員)と本人、他の受講生からの評価を合算して主たる評価とします(80点)。 →最初の調査(15点分)、発表に関する学生間の相互評価(20点分)、発表に関する鈴木からの評価(45点分) ・遅刻・欠席による減点はありませんが、出席回数が全体の3分の2に満たない者には、単位を認めません。(出席回数の計算にあたっては、遅刻等を欠席と同様として扱います。)
8 臨床心理学講義Ⅲ	月3	佐々木 玲仁	・期末レポート
9 教師教育論演習	月4	清水 良彦	・毎回の感想カード:30% ・期末レポート:30% ・検討内容の報告:15% ・意見の発表:15% ・グループワークへの積極的な参加:10%
10 グループ・アプローチ論演習(心理学的支援法)	月4	金子 周平	・演習の最後に提示するレポート課題によって評価を行う。 ・積極的なコミットメントを評価する。 ・4回以上の欠席でレポート提出の資格なしとする。
11 (秋学期) Democracy and Education Ⅱ	月4・5	陳 思聡	・course report(英語または日本語)(50%) ・プレゼンテーション(20%) ・授業への貢献度(30%)
12 (冬学期) Education and politics Ⅰ	月4・5	陳 思聡	・course essay(英語1,500wordsまたは日本語3,000字)(50%) ・授業への貢献度(50%)
13 教育環境学研究法	火2	木下 寛子	・15回の授業で課すミニ実習のレポート及び最終レポート ・実習、および文献講読に関する発表 ・ディスカッションへの参加、およびコメントシート ・出席必須
14 教育史概論	火2	江口 潔	・小レポート ・期末レポート ・授業時に発言を求める ・11回以上出席することを単位取得の前提条件とする。

令和6年度後期(秋学期・冬学期) 成績評価方法【教育学部】

R6.12.4時点

科目名	曜日 時限	担当教員	成績評価方法 (※詳細についてはシラバスを確認すること)
15 教育心理学演習(教育・学校心理学)	火2	伊藤 崇達	・最終レポート ・発表や質疑への関与の度合いによって評価します。
16 心理演習	火2	古賀・小澤・金子	・授業の終盤に支援計画と体験の振り返りをレポートとして課す。 ・授業中の参加態度や質問・発言・ディスカッションを評価する。
17 教育関係史演習	火3	野々村 淑子	・担当箇所の発表とレジュメを考慮する ・授業への貢献度、出席を考慮する
18 マスコミュニケーション I	火3	富澤 奏子	・各種提出物を授業中の態度と同等に評価します。 ・本授業は参加型で実施します。一方的に講師の話聞く授業ではありません。みなさんの積極的なパフォーマンスを期待します。 ・遅刻・欠席による減点はありませんが、出席回数が全体の3分の2に満たない場合は、単位を認めません(遅刻等は欠席として扱います。)
19 乳幼児心理学演習(学習・言語心理学)	火3	橋彌 和秀	・最終レポート必須 ・授業への積極的な参加が必須
20 コミュニティ心理学演習(社会・集団・家族心理学)	火3	杉山 高志	・各回の授業で課すコメントシート(60%) ・最終回の授業での発表内容の評価(40%) ・授業態度が著しく劣っている場合は減点する。
21 障害心理学講義 I (障害者・障害児心理学)	火3	遠矢 浩一	・各回、小課題を課す。小課題が提出されない場合にはMoodleにて出席となっている場合にも欠席取り扱いとする。 ・全学基本メールアドレスによりMoodleにアクセスし、自動出欠登録が行われる。Moodle記載内容を十分に確認の上、出席すること。
22 (秋学期)	火3・4	雪丸 武彦	毎回の講義で提出してもらいミニレポート(30%)、ポートフォリオ(20%)、最終レポート(50%)
23 (冬学期) 教育哲学概論 I・II	火3・4	藤田 雄飛	・複数回のレポート ・授業への貢献度 ・出席を考慮
24 教育実践学 II 演習	火4	江口 潔	・期末レポート ・授業へのコミットメント度合い
25 教育環境人間論	火5	木下 寛子	・小レポート ・最終の課題として小論文を課す。 ・授業への積極的参加 ・毎回、Moodle上でその日の授業に関わる疑問やコメントなどを提出すること。
26 高等教育論演習	火5	小湊 卓夫	・複数回のレポート提出 ・授業への貢献度 ・出席を考慮
27 心理学研究法	水1・2	池田 浩	・各教員が課すレポート課題を提出してください(100%) ・全ての授業に出席することが必要。
28 心理学実験	水2・3	實藤 和佳子	・発表会での発表 ・平素の成績
29 障害児童学演習(障害者・障害児心理学)	木1	小澤 永治	・もくもくグループへの参加態度によって成績評価を行います。 ・セラピーセッション、カンファレンスへの理由ない欠席は減点の対象とします。
30 生涯学習概論	木2	岡 幸江	・毎回の授業において、ミニレポートの提出 ・最終レポート ・基本的には出席点・ミニレポート・最終レポートで評価するが、最終レポートに大きな比率をおく。

令和6年度後期(秋学期・冬学期) 成績評価方法【教育学部】

R6.12.4時点

科目名	曜日 時限	担当教員	成績評価方法 (※詳細についてはシラバスを確認すること)
31 国際教育論Ⅱ演習	木2	花井 渉	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の小レポート:20% ・各担当章に関する発表:50% ・授業への貢献度:30%
32 社会教育施設論演習	木3	岡 幸江	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業において、ミニレポートの提出をお願いする。 ・最終レポートを課す。 ・基本的には出席点・ミニレポート・最終レポートで評価するが、最終レポートに大きな比率をおく。
33 医療心理学演習(健康・医療心理学)	木3	野村 れいか	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回講義後に課題を提示する(50%) ・講義テーマに関するレポートを提出(50%) ・講義時に出席確認を行う。
34 自己過程心理学演習(感情・人格心理学)	木3	古賀 聡	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感情心理学、人格心理学に関する小テストを実施する。 ・学期末にレポートを課す。
35 教育統計学	木2	木村 拓也	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の理解を問う中間・期末レポートが課される。 ・授業参加20%、中間レポート40%、期末テスト40%とする。 ・中間レポートを提出し、期末テストを受験しないと単位を認定しない。 ・出席は、九州大学Moodleで取ります。開始10分を過ぎると遅刻に認定されるので要注意のこと。 ・なお、出席が、2/3未満(10回以上必要)の者には、不可をつけます。
36 (冬学期) 教育哲学特論Ⅱ演習	木4・5	藤田 雄飛	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート、授業への貢献度、出席
37 教育とコミュニケーションデザイン	金2	田北 雅裕	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への貢献度(10%)、ミニツツペーパー(20%)、レポート2~3回(70%)の割合で成績評価します。
38 教育環境行動学演習	金2	木下 寛子	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的にグループでひとつの研究報告を提出する(80%) ・観察やインタビューをもとにした記録・記述、報告が必要になる。積極的なコミットメントを期待する(10%) ・基本的にグループでの取り組みとなるため出席は必ずするようにしてください(10%)